

- このニュースは、毎月1回、以下の通り配信されています。
  - ◎ 各都道府県石油組合および北海道・各地方石油組合宛
  - ◎ 共同事業部会各委員および農林漁業部会各委員
  
- 全石連ホームページに「共同事業Gニュース」を常時掲載しています。  
いつでもカラーで、過去号から最新号まで、ご覧いただけます。
  - ※ 「全石連」で検索⇒「石油広場 全石連ホームページ」⇒  
「組合員の皆様へ」⇒「組合員情報」⇒「共同事業Gニュース」
  - ※ アドレスは <http://www.zensekiren.or.jp/> です。
  
- 主な内容は（お役立ち情報満載！）
  - ① 購買事業の「新商品紹介」、主力商品の基礎知識
  - ② 中型生命等の販売成功例、自家共済、保険の紹介と基礎知識
  - ③ 各種お知らせ
  - ④ 農林漁業A重油制度解説～事務手続きのポイント等 　　などです。

## (目次)

1. 中型生命グループ保険の今年度配当金が決定しました
  2. SSパートアルバイト専用傷害プランを発売しました
  3. お知らせ
    - (1) 各県石のキャンペーン目標達成に向けた取り組み
    - (2) スキャンツールはハイテク車両の点検に欠かせません
    - (3) 贈答用タオルのご注文はお早め
    - (4) 施設賠償増額プランからSS総合安心プランへの切り替え加入について
    - (5) SS総合共済の事故例：燃料添加材によるトラブル
- 
- 農林漁業コーナー　（お知らせ）

## 1. 中型生命グループ保険の今年度配当金が決定しました

中型生命グループ保険の10月1日現在の加入者数は、8,558人、前月比-48人です。

中型生命の24年度契約（24年8月1日から25年7月31日）に関する収支結果は、支払保険料1億2,400万円に対し、支払保険金5,600万円となりました。この結果、4,500万円を配当金として加入者に送金できることになりました。加入者の保険料引去り口座に10月5日着金で手配を取っており、配当金の送金案内が加入者宛に発送されています。送金案内には被保険者毎の配当金明細は記載されていないので、「明細が知りたい」という問い合わせがありましたら本会にご連絡ください。

また、例年、配当金に関する税務処理についてお問い合わせがありますが、「益金」として処理できるとされています。

毎月上旬にメールで提供している各種データに月次の中型生命の加入・脱退状況をまとめたグラフを追加いたしますので、ご参考としてください。

## 2. SSパートアルバイト専用傷害プランを発売しました

パートアルバイト従業員を加入対象にした専用の傷害保険のニーズが高まっています。この度本会では、損害保険ジャパンと提携してSSパートアルバイト専用傷害プランを発売しました。

10月上旬に中型生命に加入している組合員（約2,400社）の皆様へ25年8月1日の更新後の加入内容のお知らせを送信することにしてはいますが、その中に本プランの募集文書、加入依頼書を同封します。

本プランのパンフレット、組合事務局用の手引きを近日中に送付いたします。

なお、保険料等の概要は以下のとおりです。

### <補償の概要>

保険金額100万円、200万円、300万円の3コースを設定しています。

地震、津波、噴火が原因のケガは補償対象外となるAプランと地震、津波、噴火が原因のケガも補償対象になるBプランの2プランを設定しています。

今回は保険期間を9カ月間（平成25年11月1日から26年8月1日まで）での加入となります。11月以降の中途加入も受け付けます。

### <保険料>

補償内容：Aプラン、Bプラン共通

保険金額	100万円コース	200万円コース	300万円コース
死亡保険金額	100万円	200万円	300万円
後遺障害保険金額	死亡保険金額の4%から100%		
入院保険金額	1,500円	3,000円	4,500円
手術保険金額	入院保険金額の5倍または10倍		
通院保険金額	1,000円	2,000円	3,000円

掛金：保険期間-平成25年11月1日から平成26年8月1日：9か月間

	Aプラン	Bプラン
100万円コース	1,710円 (保険料 1,180円+制度運営費 530円)	1,935円 (保険料 1,420円+制度運営費 515円)
200万円コース	3,420円 (保険料 2,350円+制度運営費 1,070円)	3,870円 (保険料 2,840円+制度運営費 1,030円)
300万円コース	5,130円 (保険料 3,530円+制度運営費 1,600円)	5,805円 (保険料 4,260円+制度運営費 1,545円)

次年度の更新時の掛金：保険期間-平成26年8月1日から平成27年8月1日：1年間

	Aプラン	Bプラン
100万円コース	2,280円 (保険料 1,580円+制度運営費 700円)	2,580円 (保険料 1,880円+制度運営費 700円)
200万円コース	4,560円 (保険料 3,150円+制度運営費 1,410円)	5,160円 (保険料 3,750円+制度運営費 1,410円)
300万円コース	6,840円 (保険料 4,730円+制度運営費 2,110円)	7,740円 (保険料 5,630円+制度運営費 2,110円)

### 3. お知らせ

#### (1) 各県石のキャンペーン目標達成に向けた取り組み

9月から始まりましたキャンペーンも早いもので1ヶ月が経過いたしました。

各県石の皆様におかれましては、目標達成に向けまして鋭意お取り組みいただきまことにありがとうございます。共同事業グループにおきましても皆様から同行依頼や会員向けの配布資料のご請求につきましてできる限りのご協力をいたします。会議等での配布資料などご要望がございましたら、遠慮なくお申し付けください。

#### (2) スキャンツールはハイテク車両の点検に欠かせません

現在の自動車はコンピューター制御が常識で、その点検も従来のオープンボンネットからハイテク機器による診断に移行しており、組合さんで実施されている次世代車研修会においてもスキャンツールによる診断がカリキュラムに組み込まれています。



スキャンツールとは、自動車の装置が正常に作動しているかどうかを車内のコネクタ（国産車は運転席の足元周辺にあることが多い）に接続して診断する「外部故障診断装置」のことで、このハイテク装置を用いて故障を早期に発見し、

必要な整備を行うことができます。特にハイブリッド車は構造の特殊性から整備方法も一般の車両と異なり、専門知識が必要でしたが、スキャンツールを使用することによってブレーキオイルの交換なども比較的容易に行えるようになりました。また、明らかに故障が原因でない警告灯の異常点灯も、わざわざディーラーに持ち込む必要はなく、スキャンツールを使ってリセットすることもでき、これ一台で日常的な作業はほぼカバーできるようになっています。

本会幹旋のスキャンツールは普及型とあるように、自動車メーカー3社の対応ソフトが入った基本パックが35,000円（税別）とお求めやすい価格となっています。

また、組合員特典として走行車両からも認知できるように「ハイテク点検実施中」のノボリ旗1本（サイズ60cm×180cm）と顧客サービスに最適な点検チェックシートA4両面印刷200枚を初回ご注文の方にサービスしております。

SSは整備工場よりも格段に来店頻度が高く、スキャンツールを使ったハイテク診断による助言は再来店を促すと同時に、その後の点検車検等につながることも期待できますので、ご興味のある組合員さんはお気軽にご相談下さい。

オプション価格は下記のとおりです。



ノボリ(左)とチェックシート

商品及びオプション	組合員価格	対応メーカー※
本体+3社分ソフト※右記メーカーより選択	35,000円	トヨタ、日産、ホンダ、マツダ、三菱、スバル、
本体+8社分ソフト	60,000円	ダイハツ、スズキ、ベンツ、BMW、AUDI、
追加ソフト1社分	10,000円	MINI、VW、フィアット、アルファロメオ、
専用プリンター	35,000円	ベントレー、マセラティ、いすゞ、FUSO、U
特別会員(技術サポート+専用プリンター付)	年額54,000円	D、日野

### (3) 贈答用タオルのご注文はお早めに

年末年始のご挨拶用としてご好評いただいております贈答用タオルですが、年末に近くになりますと工場繁忙期のため、ご注文から納品まで1ヶ月近くかかる場合がございます。

年末用に贈答用タオルをお考えの組合員さんには、11月初旬までにご注文いただければ通常納期の3週間程度で納品できますので、早目のご注文をお奨めいたします。

また、来年の干支（午）をデザインした干支タオル（写真の3柄、右2枚は色違いで1対）もご用意しておりますので、ご用命は共同事業グループ資材チームまでお願いいたします。



#### (4) 施設賠償増額プランからSS総合安心プランへの切り替え加入について

SS総合共済の補償額を拡大する保険商品として提供を始めた「施設賠償増額プラン」が今年度の保険期間終了（平成25年11月15日）をもって提供を取止めることとなり、同プランに加入している405SSに対してSS総合安心プラン（安心プラン）への切り替えを提案しました。その結果、154SSという想定を大きく上回る加入申込みがありました。組合事務局の皆様には、お忙しい中、安心プランへの切り替えについて未回答であったSSへの確認のご連絡で快くご協力いただきましたことにお礼を申し上げます。

安心プランの提供開始から2年目に入りますが、「施設賠償増額プラン」では支払対象外となっているSSスタッフの作業ミスによる事故やSSスタッフがお客様の車の運転中に起こした事故での保険金請求事例も出始めています。安心プランの保険料30,000円の負担は軽いものではありませんが、車の修理費は時としてかなり高額になることがありますので、安心プランに加入することで100万円を超えるような高額賠償事故が発生してもSS側の経済的負担はかなり軽減されます。SS総合共済に加入される組合員さんにはSS受託自動車保険、SS総合安心プランの存在をPRしていただきますようお願いいたします。

#### (5) SS総合共済の事故例：燃料添加材によるトラブル

SSでガソリンに混入することでエンジン内部を洗浄する効果があるとされているエンジン洗浄剤を、平成17年登録のジャガーにSSで販売（燃料タンクに注入）し、洗浄剤を入れてエンジンをかけていたところ、15分後くらいからエンジンが不調となったという事故が発生しました。この車の修理には約47万円かかりました。

このSSに事故の状況を聞き取ったところ、系列で斡旋されているエンジン洗浄剤を扱っており、これまでエンジン不調となった事例はなく、今回が初めてのトラブルということでした。

車の修理業者にエンジン不調の原因と洗浄剤との因果関係を確認したところ、次のような見解が示されました。

ジャガーの場合、車の各種情報（燃料の状態、燃焼状況、車の挙動など）を管理しているセンサーの感度が国産車に比べて高精度に作られていて、洗浄剤の混入を“エンジンへの異常発生”として感知したものと考えられる。国産車の中でも高級車では同じようなことが発生することもあると思う。洗浄剤の販売については販売先に適応車種を確認したほうがトラブル発生を防げることになる。

燃料タンクの水抜き剤に関しても、水抜き剤を入れたガソリンは、極端な話、その日のうちに使い切るくらいの使い方をしないと車へのトラブルが発生することもある。燃料タンクの空間部分が多いとタンク内に水分が入り込む原因になるので、タンクの残容量が半分位になったら満タンにする、という使い方をするのが車にやさしい使い方といえる。

上記はあくまでも修理業者の専門的見解ですが、日頃のSS業務のご参考としていただければ幸いです。

## 温対税還付制度 農林漁業用軽油 集計表の

### 内容確認について

農林漁業用軽油の第1四半期分の確認証の集計が終了したため、現在、組合各位に農林漁業用軽油の「集計表（組合用）」を送付しております。これは登録業者から7月に提出していただいた確認証をまとめたものになりますので、組合各位で内容のご確認をお願いいたします。もし集計違い等あれば**大至急で全石連まで連絡**をお願いいたします。

問題ない場合は押印の上、全石連まで返送方よろしくをお願いいたします。

この集計表を確認後、登録業者に控えをご返送ください。お手数をおかけしますがよろしくをお願いいたします。

前々回にもお知らせしておりますが、温対税還付制度における農林漁業用の軽油は、免税証を利用して需要家が購入した軽油だけを対象としております。

そのため、実際に農林漁業用で使用されたとしても、**免税証を利用して購入されなかった場合は、全て対象外**になります。

組合各位では改めてこのことを農林漁業用軽油の登録業者へ徹底をお願いいたします。登録販売業者には台帳の整備も求められておりますのでこの点もあわせて徹底をお願いいたします。

農水省の登録業者に対する現地調査も行われることが決まっておりますので、今後とも上記内容には十分ご注意ください、周知・徹底をお願いいたします。

